

令和2年の火災・救急・救助概況



火災

問い合わせ 予防課 ☎254-0356 FAX256-7755

令和2年中に市内で発生した火災は103件で、前年に比べ12件減少しました。火災の種別でみると建物火災は43件で、うち住宅火災は27件でした。

また、火災による死者は5人で、うち4人は住宅火災によるものでした。

全国では、住宅火災で住宅用火災警報器が鳴動し、火災に気付いて早期に消火を行ったことで大事に至らなかった事例などがあります。大切な命と財産を守るため、住宅用火災警報器を設置し、維持管理しましょう。

区分	令和2年	令和元年	増減	
火災件数合計(件)	103	115	▲12	
火災種別	建物火災(件)	43	54	▲11
	うち住宅火災(件)	27	27	0
	林野火災(件)	3	6	▲3
	車両火災(件)	12	10	2
	その他の火災(件)	45	45	0
死者(人)	5	4	1	
	うち住宅火災(人)	4	3	1
負傷者(人)	5	10	▲5	

▲は減少を示します。令和2年中の数値は速報値です。

救急

問い合わせ 消防救急課 ☎254-1600 FAX254-1607

令和2年中の市内における救急出動件数は1万4,242件で、前年に比べ1,657件減少しました。事故種別でみると、例年同様急病が最も多く、次いで一般負傷、交通事故の順でした。

救急出動の減少は、新型コロナウイルス感染症の感染予防策に取り組んだことにより季節性インフルエンザなどの感染症にかかる人が減少したことが要因の1つとして考えられます。引き続き感染症予防に取り組みましょう。また、救急車の適正利用についてもご理解とご協力をお願いします。

救急車を要請するか迷った場合には、三重県救急医療情報センター(☎229-1199)に相談しましょう。

区分	令和2年	令和元年	増減	
出動件数(件)	14,242	15,899	▲1,657	
搬送件数(件)	12,866	14,482	▲1,616	
搬送人員(人)	12,953	14,607	▲1,654	
主な事故種別	急病(件)	9,189	10,102	▲913
	一般負傷(件)	2,461	2,590	▲129
	交通事故(件)	933	1,160	▲227

▲は減少を示します。令和2年中の数値は速報値です。

救助

問い合わせ 消防救急課 ☎254-1601 FAX254-1607

令和2年中の市内における救助出動件数は149件で、前年に比べ38件減少しました。救助出動のうち交通事故が66件で最も多く、全体の44%を占めました。

また、建物等による事故は49件発生し、「高齢者が建物内に居るはずだが、外からの呼び掛けに回答がない」といった内容が多いことから、高齢者や体の不自由な人を守るために定期的な連絡、隣近所との協力体制をつくりましょう。

区分	令和2年	令和元年	増減	
出動件数(件)	149	187	▲38	
活動件数(件)	85	112	▲27	
救助人員(人)	86	116	▲30	
主な事故種別	火災(件)	0	1	▲1
	交通事故(件)	66	82	▲16
	水難事故(件)	7	17	▲10
	建物等による事故(件)	49	53	▲4

▲は減少を示します。令和2年中の数値は速報値です。

新型コロナウイルス感染症対策に潜む火災のリスク

消毒用アルコールは火気に近づけると引火しやすく、発生する可燃性蒸気は空気より重く低いところにたまりやすい特徴があります。以下の点に注意しましょう。

- こんろなどの火気の近くで使用しないようにする。
- 直射日光が当たる場所や高温となる場所に置かないようにする。

- 通気性のある場所や、換気されている場所で使用する。
- 容器は、落下させたり衝撃を与えないようにする。
- 容器には、「消毒用アルコール」「火気厳禁」と記入する。